

加太小学校だより

<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabuto/>

令和7年
12月15日
No.17



人権集会を行いました

毎年12月4日から10日までの1週間は、人権週間です。これは、世界人権宣言が国連で採択されたことを記念し、「誰もが自分らしく幸せに生きる権利（人権）を大切にしよう」と、みんなで考える期間です。

本校では、「ちがいを知り、ちがいを楽しみ、みんなが安心して過ごせる学校を考えよう」をテーマに、全校児童で人権集会を行いました。集会のはじめに、他国の文化について知るため、よしださんからブラジルの話を、また先生からインドの話を聞きました。あいさつの仕方や食事、学校の様子など、さまざまな文化の違いを知ることで、子どもたちは、それぞれの国に大切にされている文化があることを学びました。

その後、身近なさまざまな「ちがい」に目を向け、ちがいがあることで困ることや、そのための工夫についてグループで話し合いました。子どもたちからは、「人によって考え方や性格がちがう」「好きなものや得意なことがちがう」など、日常生活を振り返った意見が出されました。そして、「ちがいは当たり前で、それを認めることが大切」「自分の思いを伝え、相手の気持ちや理由を聞くことが大切」「相手の表情をよく見て、思いやりをもつことが大切」「だれもが意見を出しやすい環境をつくることが大切」など、多くの学びを共有しました。

最後に、これから自分が大切にしていきたいことを一人一人が宣言文にまとめ、人権についての思いを深める集会となりました。東階段壁面に掲示してありますので、ご覧ください。



関中学校区人権フォーラムが開催されました

12月5日、関中学校区の取組として、関中学校に関中・関小・加太小の児童生徒が集まり、関中学校区人権フォーラムを開催しました。人権フォーラムでは、身の回りで起こり得る出来事を題材に、互いの思いや考えを伝え合いながら話し合いを行いました。



〈児童のふり返りより〉

- ・相手のことをよく見ることが大切だと感じた。
- ・相手の表情に気づいたり、「どうしたの」と声をかけたりすることが大切だと思った。
- ・言えることは、勇気をもって伝えることが大切だと分かった。
- ・〇〇が悪いとすぐに決めつけるのではなく、よく考えることが大切だと思った。
- ・友だちの様子がおかしいときには、責めるのではなく「どうかしたの」と聞きたい。



アスリートの方による体育授業

世界パラ陸上競技選手権で銅メダルを獲得された選手を本校にお迎えし、子どもたちに体育の授業をしていただきました。

はじめに、これまでの歩みや競技に対する思いについてお話しいただき、続いて競技で使用する義足の説明や銅メダルの披露がありました。子どもたちは、間近で見る貴重な体験に大きな関心を寄せていました。

その後、体育館に移動し、陸上競技の「走る」ことにつながる体づくりの運動を教えていただきました。まっすぐな姿勢の大切さやジャンプやケンケンといった動きが速く走ることにつながることを体験を通して学ぶことができました。また、遊びの中でトレーニングができることも実感している様子でした。

アスリートの方から直接実体験を聞くことで、「小さな成功体験を大切にすること」や「夢に向かって歩み続けること」など、自分の生き方について考える貴重な機会となるとともに、自分の可能性を信じ、夢に向かって努力を続ける方との出会いは、子どもたちにとって大変意義深いものとなりました。



11月末～12月の学校風景

【花いっぱい活動】花ボランティアさんと一緒にパンジーの植え替え作業をしました。



【もちつき体験】全校児童と保育園年長児さんでもちつきをしました。5年生は、お世話になった地域の方を招待して感謝の気持ちを伝えました。

【児童集会】児童会主催の集会です。今回は、いじめ防止標語の発表と生活目標のふり返り発表、委員会からのお知らせがありました。